

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版45号



平成 25 年 1 月 7 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在33歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

●2013年が始まりました。

日頃から大変お世話になっております。公職選挙法第147条の2の規定により新年の挨拶ができないこと、年賀状については返礼しか出せない旨、まずはご了承いただければと思います。

さて、皆さまのお陰で茨城県議会議員として7度目の新春を迎えることになりました。昨年は私にとって「教育」について改めて考える年となりました。県議会では文教警察委員会に所属し、いじめ問題をはじめ、義務教育から県の生涯学習の役割まで教育に関して多岐にわたる議論を交わし、議会外では、インドのある貧困地域に学校を造るプロジェクトに参加させて頂きました。世界各国から集まった言葉や文化の異なる同世代の方々と一緒に最初は言葉が通じない状況ですが、一つの目標に向けて取り組む中で、しだいに打ち解けて行き、それぞれの国の教育制度から原発政策まで膝を突き合わせ語り合う中で多くのことを学びました。

さらに昨春にはソ連から独立してまだ約20年、資源に乏しく人材育成に力を入れている親日の国、中央アジアのキルギス共和国からご招待頂き、キルギス人文大学の教壇に立ち、日本語を学ぶ大勢のキルギス人学生の前で政治家としての私の世界観についてスピーチをさせて頂きました。

また、キルギスの民間企業では、JICAのビジネスコースで日本経営を学び経営改善に努めているとのこと。「かいぜん」という日本語がキルギス人の社長たちの間では共通の言葉のようです。

さて、世界各国の方々と話をする中で、改めて感じることは、私たち一人ひとりがもっと自分の国に対して関心を持つこと、もっと自信を持って日本の将来を語り、他人任せの事なかれ主義から脱却すべきではないかということです。

そして、政治に携わる者の一人として、政党うんぬん以前に失われた政治への信頼回復が大きな責務であり、改めて襟を正さなければいけないということです。昨年末の衆議院選挙では、投票率が前回と比較して約10%低下しました。保守革新の55年体制から、政権交代可能な保守の2大政党制へ。私を含め、そのような期待感を国民の皆様が持ってくれたからこそ、ここ数年、いい意味で政治への関心が高まったと思います。しかし、この3年3カ月間のずさんな政権運営に無念さと、政権交代を掲げた一人として重い責任を感じております。いずれにせよ、まずは県議としての職責をしっかりと果たしていきます。今年の所属は農林水産委員会所属。全国第2位の出荷額を誇る茨城の農業、霞ヶ浦浄化について、今まで以上により腰を据えて取り組みたいと思います。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

余談ですが、キルギス共和国に昨年10月下旬、日本レストランがオープンしました。そのお店の名前は「やまと」だそうです。

※なるべく毎月一回このような県議会報告を出しております。一人でも多くの方に閲覧頂ければ幸いです。ご希望の方はお手数ですが、029-828-7012までファックス通信希望とファックスでご送付ください。